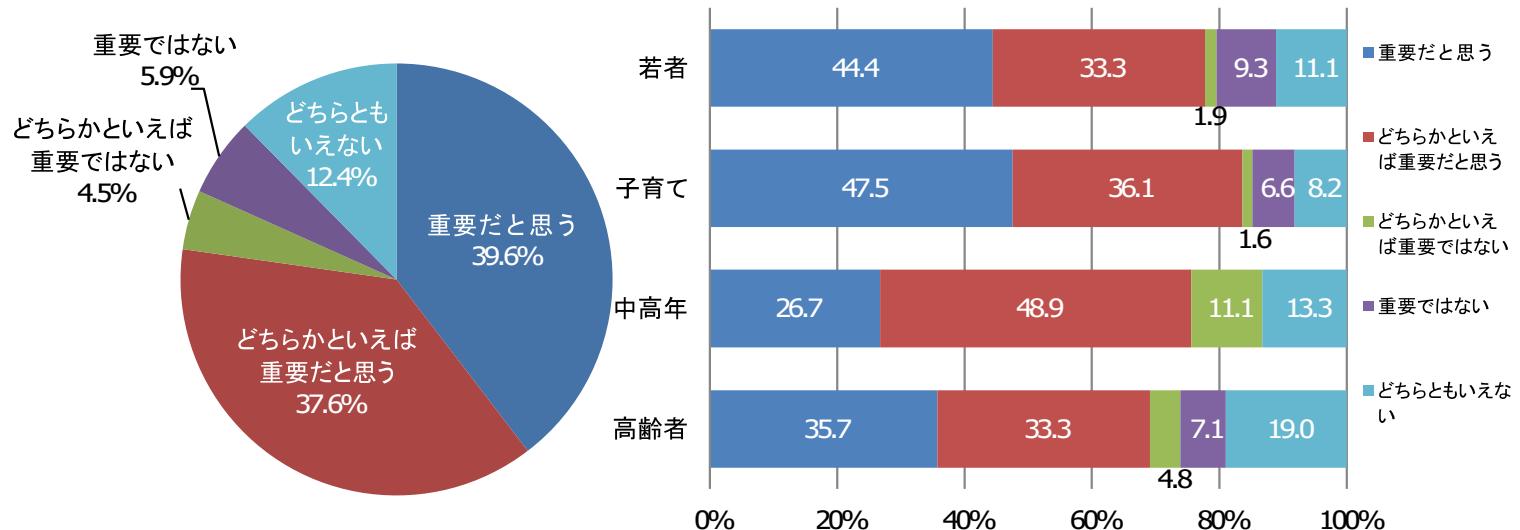


## <ジェンダー平等について>

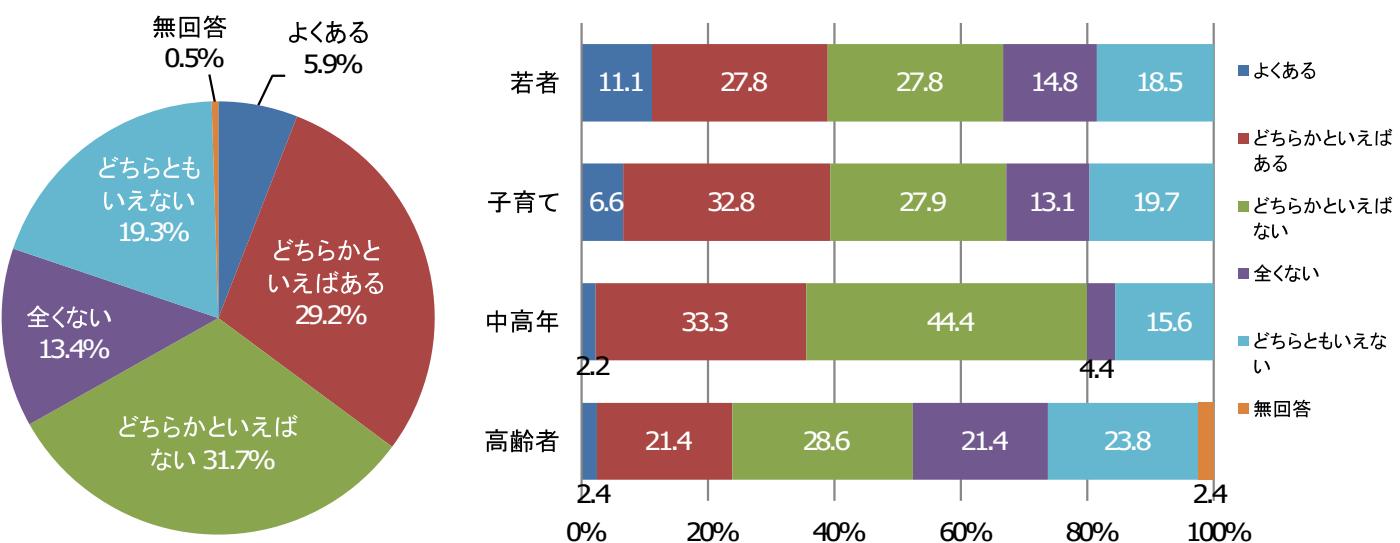
※ジェンダーとは、身体的な性別とは異なり、例えば「男らしさ・女らしさ」「男は仕事、女は家庭」などの社会通念や習慣の中で社会的・文化的に作られた男女の性差をいいます。

### ■問1 ジェンダー平等について (n=202)



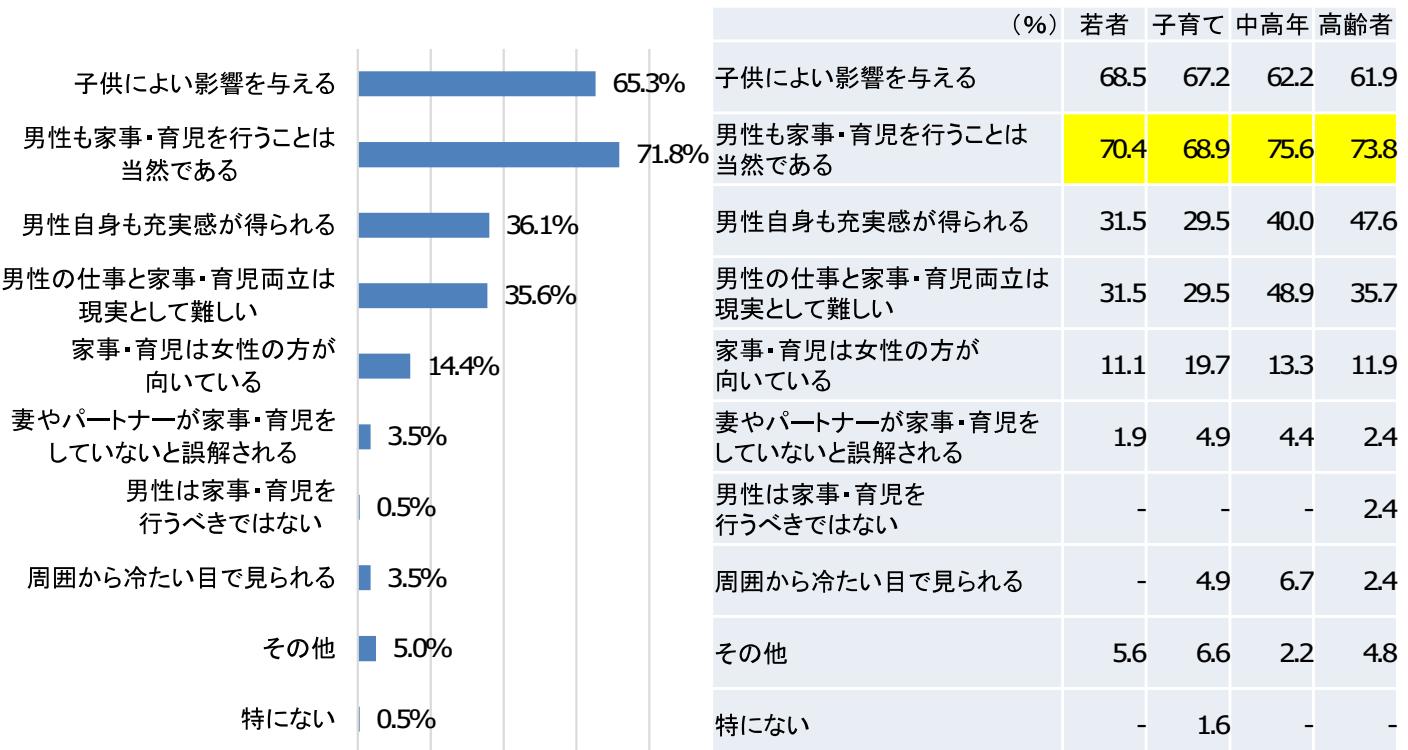
- ジェンダー平等については、『重要』(「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年の約8割、高齢者の約7割が『重要』と回答しています。

### ■問2 ジェンダー平等を意識した取り組みが行われていると感じるか (n=202)



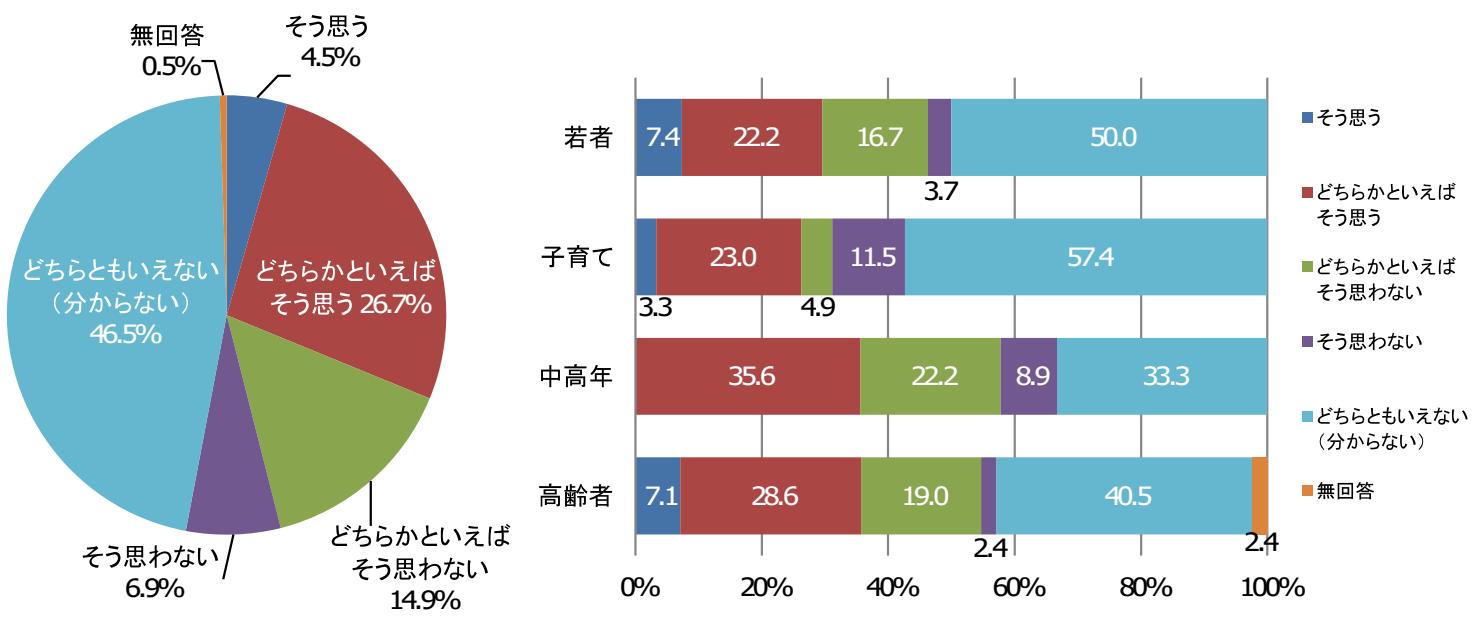
- ジェンダーを意識した取り組みが行われていると感じるかについては、『感じる』(「よくある」と「どちらかといえばある」の合計)が約4割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年の約4割、高齢者の約2割が『感じる』と回答しています。

### ■問3 男性が家事・育児を行うことについてどう思うか (n=202 複数回答)



- 男性が家事・育児を行うことについてどう思うかについては、「男性も家事・育児を行うことは当然である」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「男性も家事・育児を行うことは当然である」が最も多い回答となっています。

### ■問4 浜松市は女性が働きやすい環境であると思うか (n=202)



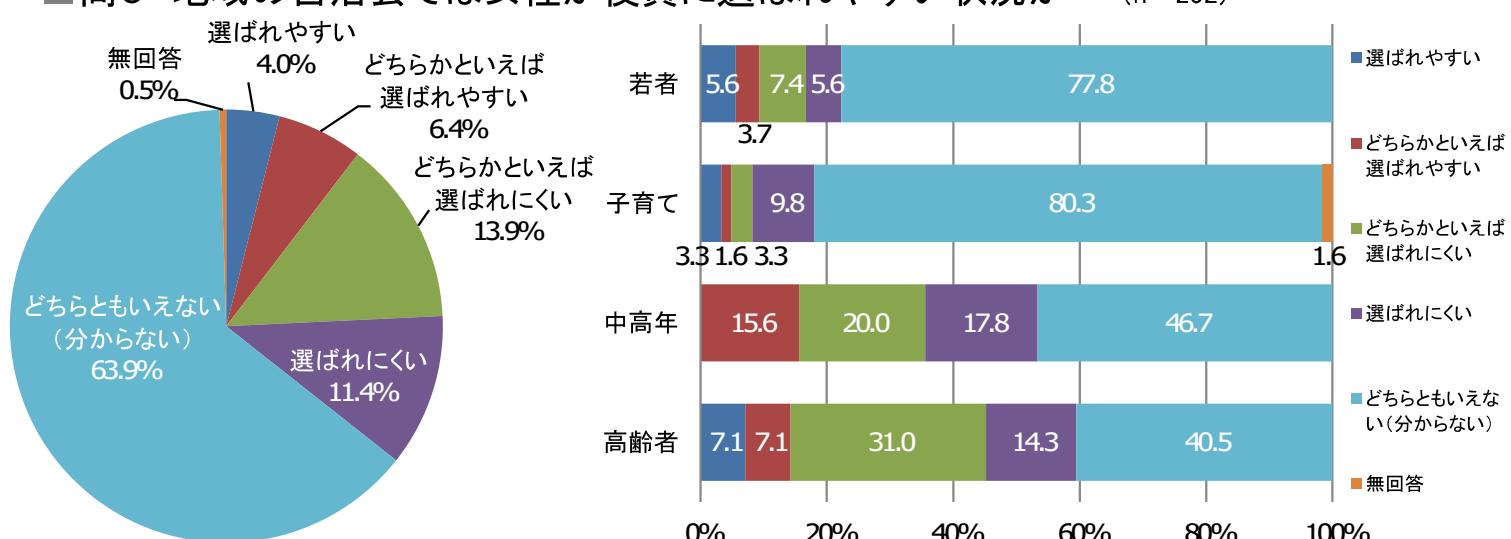
- 浜松市は女性が働きやすい環境であると思うかについては、「どちらともいえない(分からぬ)」が約5割と最も多い回答となっているものの、『思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計)を上回っています。
- 世代別でみると、若者・子育て・高齢者では「どちらともいえない(分からぬ)」が最も多い回答となっているものの、全ての世代で『思う』が『思わない』を上回っています。

## ■問5 女性が働きやすい環境づくりのために必要なこと (n=202 複数回答)

	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者		
子供を預けられる環境の整備	77.2%	子供を預けられる環境の整備		74.1	78.7	73.3	83.3
仕事と育児の両立支援制度	67.8%	仕事と育児の両立支援制度		68.5	67.2	71.1	64.3
柔軟な働き方のしくみ	70.8%	柔軟な働き方のしくみ		66.7	68.9	75.6	73.8
家事・育児サポートサービス	53.0%	家事・育児サポートサービス		61.1	57.4	46.7	42.9
男性の家事育児参加への理解	54.0%	男性の家事育児参加への理解		46.3	59.0	51.1	59.5
女性が働くことに対する周囲の理解	34.7%	女性が働くことに対する周囲の理解		29.6	31.1	44.4	35.7
キャリアアップ・昇進の公平性	43.1%	キャリアアップ・昇進の公平性		51.9	41.0	35.6	42.9
雇用・給与の男女間格差解消	49.5%	雇用・給与の男女間格差解消		63.0	44.3	44.4	45.2
女性労働支援の情報発信	23.3%	女性労働支援の情報発信		25.9	27.9	17.8	19.0
女性特有の健康課題への理解	39.6%	女性特有の健康課題への理解		37.0	45.9	35.6	38.1
その他	3.5%	その他		5.6	6.6	-	-
分からぬ	0.5%	分からぬ		-	1.6	-	-
無回答	1.5%	無回答		1.9	1.6	-	2.4

- 女性が働きやすい環境づくりのために必要なことについては、「子供を預けられる環境の整備」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「子供を預けられる環境の整備」が、中高年では「柔軟な働き方のしくみ」が最も多め回答となっています。

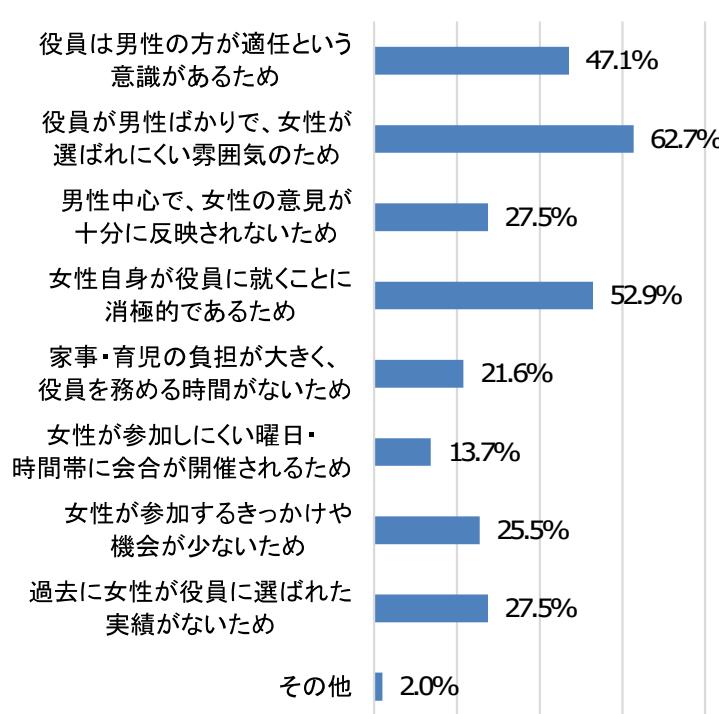
## ■問6 地域の自治会では女性が役員に選ばれやすい状況か (n=202)



- 地域の自治会では女性が役員に選ばれやすい状況かについては、「どちらともいえない(分からぬ)」が約6割と最も多い回答となっているものの、「選ばれやすい状況にない」(どちらかといえば選ばれにくい)と「選ばれにくい」の合計)が『選ばれやすい状況にある』(「選ばれやすい」と「どちらかといえば選ばれやすい」の合計)を上回っています。
- 世代別にみても、全ての世代で『選ばれやすい状況にない』が『選ばれやすい状況にある』を上回っているものの、若者・子育てでは「どちらともいえない(分からぬ)」が約8割となっています。

## ■問7 自治会役員に女性が選ばれにくい状況である理由 (n=51 複数回答)

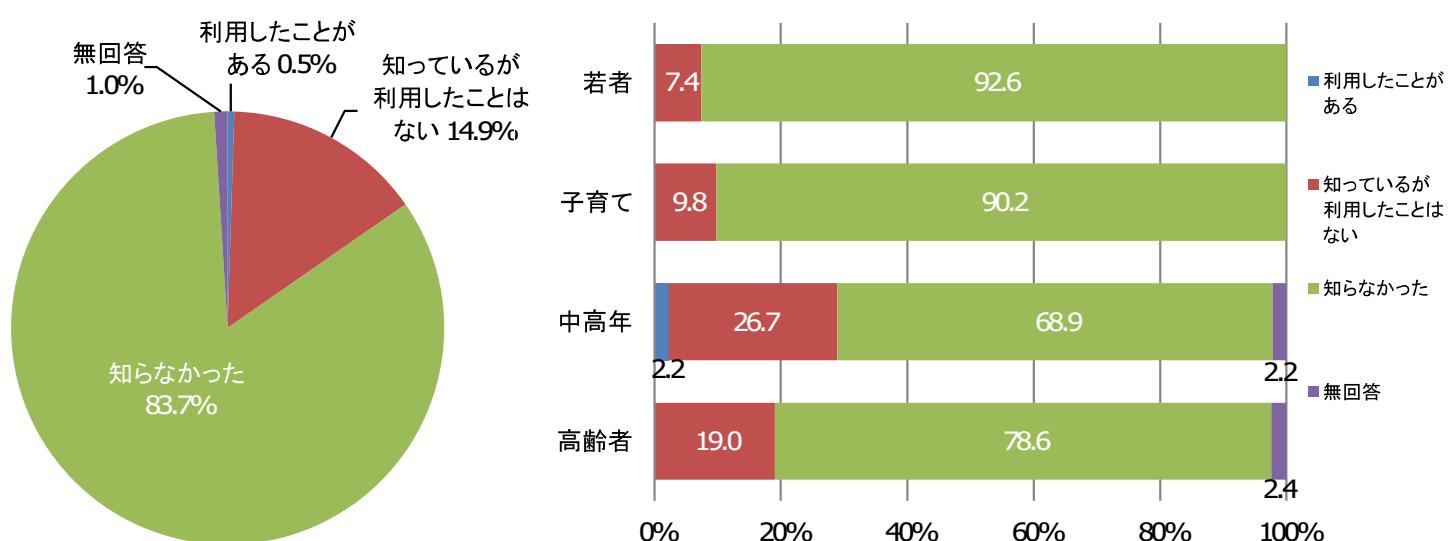
(問6で「3 どちらかといえば選ばれにくい状況である」「4 選ばれにくい状況である」と回答した方)



	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
役員は男性の方が適任という意識があるため	57.1	50.0	58.8	31.6	
役員が男性ばかりで、女性が選ばれにくい雰囲気のため	42.9	62.5	58.8	73.7	
男性中心で、女性の意見が十分に反映されないため	42.9	37.5	35.3	10.5	
女性自身が役員に就くことに消極的であるため	42.9	37.5	52.9	63.2	
家事・育児の負担が大きく、役員を務める時間がないため	-	62.5	17.6	15.8	
女性が参加しにくい曜日・時間帯に会合が開催されるため	-	25.0	17.6	10.5	
女性が参加するきっかけや機会が少ないとため	14.3	50.0	17.6	26.3	
過去に女性が役員に選ばれた実績がないため	-	25.0	35.3	31.6	
その他	-	12.5	-	-	-

- 自治会役員に女性が選ばれにくい状況である理由については、「役員が男性ばかりで、女性が選ばれにくい雰囲気のため」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「役員は男性の方が適任という意識があるため」が、子育て・中高年・高齢者では「役員が男性ばかりで、女性が選ばれにくい雰囲気のため」が最も多い回答となっています(子育てでは「家事・育児の負担が大きく、役員を務める時間がないため」、中高年では「役員は男性の方が適任という意識があるため」も同率)。

## ■問8 男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)でジェンダー平等や男女共同参画推進のための講座や相談等を行っていることの認知度 (n=202)



- 男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)でジェンダー平等や男女共同参画推進のための講座や相談等を行っていることの認知度については、「知らない」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「知らない」が最も多い回答となっています。

## ■問9 ジェンダー平等に関する項目で関心のあるもの (n=202 複数回答)

	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
ジェンダー平等の基本	38.1%	31.5	41.0	42.2	38.1
女性活躍推進	21.8%	18.5	26.2	22.2	19.0
ワーク・ライフ・バランス	45.0%	59.3	49.2	51.1	14.3
男性の家事・育児参加	41.1%	50.0	44.3	44.4	21.4
男女共同参画視点の自治会運営	10.4%	1.9	13.1	13.3	14.3
男女共同参画視点の防災対策	17.8%	11.1	19.7	20.0	21.4
D V 防止	26.7%	27.8	26.2	28.9	23.8
ハラスメント防止	34.7%	38.9	34.4	40.0	23.8
アンコンシャス・バイアス (無意識の偏見)	30.7%	25.9	34.4	31.1	31.0
生理などの女性特有の健康課題	22.8%	31.5	27.9	22.2	4.8
L G B T Q	17.3%	22.2	23.0	13.3	7.1
その他	1.5%	1.9	3.3	-	-
特にない	11.9%	16.7	9.8	4.4	16.7
無回答	0.5%	-	-	-	2.4

- ジェンダー平等に関する項目で関心のあるものについては、「ワーク・ライフ・バランス」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「ワーク・ライフ・バランス」が、高齢者では「ジェンダー平等の基本」が最も多い回答となっています。